

第Ⅱ期クリーンセンターかしはら長期包括運営委託事業
要求水準書・別紙一覧

- 別紙 1 特定部品のリスト
- 別紙 2 ごみ搬入量実績及び計画処理量
- 別紙 3 ごみ質分析結果・計画ごみ質
- 別紙 4 貸与機器リスト
- 別紙 5 各種計画書等の内容
- 別紙 6 現行の清掃等作業基準表
- 別紙 7 市が実施する環境計測
- 別紙 8 事業に係るリスク分担
- 別紙 9 本件施設の主な法定点検とその直近実施時期
- 別紙 10 本件施設における人員配置一覧
- 別紙 11 令和 5 年度排ガス測定値
- 別紙 12 令和 5 年度ダイオキシン類測定値
- 別紙 13 「橿原市上下水道部」及び「大和高田市上下水道部お客様センター」の部屋の利用状況

別紙1 特定部品のリスト

特定部品リスト

設備名	装置名	(機器名)部品名	調達期間 (参考)
受入供給設備	ごみクレーン自動制御盤	ソフトウェア	6ヶ月
燃焼設備	ごみ投入ホッパ	ホッパ及びゲートブリッジ解除装置部品	5ヶ月
	給じん装置	レール、ライナー、プッシャー キャップ、シュウ、シリンダー	6ヶ月
	燃焼装置 (乾燥/燃焼/後燃焼含む)	火格子類、レール、台車、ロッド、 駆動シャフト、ジャバラ、シリンダー	6ヶ月
	焼却炉	炉内耐火物類	5ヶ月
	落じんホッパシュート	ホッパシュート本体	6ヶ月
燃焼ガス冷却設備	ボイラ	ボイラ本体、燃焼室・1,2パス水管 1次～3次過熱器、節炭器	発生の都 度協議
	スートブロワ	ノズル、内・外筒管他構成品	6ヶ月
	蒸気だめ(高圧及び低圧)	本体、マンホール	5ヶ月
排ガス処理設備	バグフィルタ	ろ布	6ヶ月
	有害ガス除去装置	消石灰輸送管、消石灰噴霧ノズル	5ヶ月
	脱硝反応塔	脱硝触媒	9ヶ月
	脱硝触媒再生装置	本体、ヒーター	6ヶ月
	減温塔	本体、噴霧ノズル	5ヶ月
灰出し設備	焼却灰搬出装置	プッシャー、ライナー、シリンダー	6ヶ月
	灰クレーン自動制御盤	ソフトウェア	5ヶ月
	灰分散機	本体、ドラム	5ヶ月
排水処理設備	汚泥掻寄機	有機系凝集沈殿槽汚泥掻寄機部品類	5ヶ月
		無機系凝集沈殿槽汚泥掻寄機部品類	5ヶ月
	砂ろ過塔	有機系砂ろ過塔部品類	5ヶ月
		無機系砂ろ過塔部品類	5ヶ月
	ろ液噴霧器	噴霧ノズル、引抜装置部品	5ヶ月
電気設備	現場制御盤	シーケンサソフトウェア	6ヶ月
計装設備	分散形計算機制御システム (自動燃焼制御システム含む) 焼却炉計装盤	監視操作盤、中央制御盤、各変換器盤 各コントロールステーション ソフトウェア	15ヶ月
	故障診断システム	ハード及びソフトウェア	9ヶ月
	運転シミュレータ	ハード及びソフトウェア	12ヶ月
灰溶融設備	混練機	パドル、スクリュウ、シャフト、ノズル	9ヶ月

※1 調達期間は、発注から納品までの部品手配に要する標準的な期間を示す。

※2 上記特定部品を用いて施設の修繕等を行う場合、設備の性能維持のため、施工企業による施工を推奨。

別紙2 ごみ搬入量実績及び計画処理量

1. ごみ搬入量実績

月別搬入量の実績 (t)

【令和2年度】

	橿原市	高取町・明日香村	吉野広域行政組合	その他市町村	合計
4月	2,885	278	198	0	3,361
5月	3,118	286	207	0	3,611
6月	3,176	276	216	0	3,668
7月	3,238	273	204	0	3,715
8月	2,941	258	217	0	3,416
9月	2,973	252	191	0	3,416
10月	3,201	265	204	0	3,670
11月	3,033	259	199	0	3,491
12月	3,258	275	221	51	3,805
1月	2,782	244	166	0	3,192
2月	2,601	219	171	0	2,991
3月	3,108	275	208	248	3,839
合計	36,314	3,160	2,402	299	42,175

【令和3年度】

	橿原市	高取町・明日香村	吉野広域行政組合	その他市町村	合計
4月	3,032	287	211	120	3,650
5月	3,031	278	214	0	3,523
6月	2,948	256	195	0	3,399
7月	3,160	272	203	0	3,635
8月	3,134	282	221	0	3,637
9月	2,920	255	189	1,668	5,032
10月	2,894	254	194	0	3,342
11月	3,122	278	214	0	3,614
12月	3,198	264	220	0	3,682
1月	2,820	254	178	0	3,252
2月	2,487	212	155	0	2,854
3月	2,942	263	208	0	3,413
合計	35,688	3,155	2,402	1,788	43,033

【令和4年度】

	橿原市	高取町・明日香村	吉野広域行政組合	その他市町村	合計
4 月	2, 887	266	203	0	3, 356
5 月	3, 158	282	221	0	3, 661
6 月	2, 969	243	195	0	3, 407
7 月	3, 088	252	190	0	3, 530
8 月	3, 215	286	227	0	3, 728
9 月	3, 024	259	187	0	3, 470
10 月	2, 993	255	192	0	3, 440
11 月	2, 846	249	184	0	3, 279
12 月	3, 139	253	207	22	3, 621
1 月	2, 827	258	176	0	3, 261
2 月	2, 420	213	164	0	2, 797
3 月	2, 876	252	193	0	3, 321
合計	35, 442	3, 068	2, 339	22	40, 871

【令和5年度】

	橿原市	高取町・明日香村	吉野広域行政組合	その他市町村	合計
4 月	2, 713	252	180	0	3, 145
5 月	3, 086	275	198	0	3, 559
6 月	2, 977	273	175	0	3, 425
7 月	2, 917	261	169	483	3, 830
8 月	2, 986	269	195	1, 234	4, 684
9 月	2, 935	239	166	73	3, 413
10 月	3, 039	268	0	0	3, 307
11 月	2, 772	241	0	0	3, 013
12 月	3, 089	255	0	0	3, 344
1 月	2, 825	240	0	0	3, 065
2 月	2, 624	220	0	0	2, 844
3 月	2, 729	228	0	0	2, 957
合計	34, 692	3, 021	1, 083	1, 790	40, 586

2. 計画処理量

年度	計画処理量（t /年）		
	橿原市	高取町・明日香村	合計
令和 7 年度	35,000	3,000	38,000
令和 8 年度	34,000	3,000	37,000
令和 9 年度	34,000	3,000	37,000
令和 10 年度	33,000	3,000	36,000
令和 11 年度	33,000	3,000	36,000
令和 12 年度	32,000	3,000	35,000
令和 13 年度	32,000	3,000	35,000
令和 14 年度	31,000	3,000	34,000
令和 15 年度	31,000	3,000	34,000
令和 16 年度	30,000	3,000	33,000
令和 17 年度	30,000	3,000	33,000
令和 18 年度	29,000	3,000	32,000
令和 19 年度	29,000	3,000	32,000

別紙3 ごみ質分析結果・計画ごみ質

1. ごみ質分析結果

【ごみ質分析結果（三成分）】（令和3～5年度実績：各年度12回測定結果の平均値）

項目		令和3年度	令和4年度	令和5年度
三成分 (%)	水分（湿ベース）	35.77	43.95	45.11
	灰分（ $\%$ ）	7.54	6.68	5.70
	可燃分（ $\%$ ）	56.70	49.38	48.41
低位発熱量(kJ/kg)（実測）		11,590	9,665	9,233

【ごみ質分析結果（元素分析）】（令和3年～5年度実績：各年度4回測定結果の平均値）

組成	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	重量(%)		
炭素 C	29.98	26.39	25.80
水素 H	3.95	3.76	3.94
窒素 N	0.60	0.59	0.57
硫黄 S	0.04	0.04	0.03
塩素 Cl	0.27	0.26	0.60
酸素 O	21.86	18.34	17.48
単位容量重量(kg/m ³)	168.75	179.08	162.67

2. 本件施設建設時の計画ごみ質

【計画ごみ質（三成分）】

項目		低質ごみ	基準ごみ	高質ごみ
三成分 (%)	水分	57.5	45.2	32.9
	灰分	13.3	12.4	11.6
	可燃分	29.2	42.4	55.5
低位発熱量(kJ/kg)（実測）		5,028	8,380	11,732

【計画ごみ質（元素分析）】

組成	重量(%)
	基準ごみ（湿ベース）
炭素 C	22.89
水素 H	3.29
窒素 N	0.50
塩素 Cl	0.28
硫黄 S	0.04
酸素 O	15.40
見掛け比重(t/m ³)	0.20

別紙4 貸与機器リスト

主な貸与機器

種 類	機 器 名
計測機器	超音波肉厚測定器・精密圧力計・圧力計・振動計・照度計・騒音計・回転計・表面温度計・シンクロスコープ・膜厚計・クランプメーター・絶縁抵抗計・接地抵抗計・デジタルマルチメーター・検電器・テスタ・聴診器（簡易振動チェッカー）・ガス検知器 溶接ゲージ・隙間ゲージ 等
切削・切断工具	バンドソー・プラズマ切断機・卓上グラインダー・ボール盤・グラインダー・電動チェーンソー・パイプカッター・ワイヤーカッター・クリッパー・エアサンダー・エアストレートグラインダー・ねじ切り機 等
給油工具	電動グリスガン・手動グリスガン・各種オイルジョッキ 等
溶接機器	ガス溶接機・TIG 溶接機・手動溶接機・エンジン溶接機・保護面・溶接用皮手袋・スパッタシート・溶接用保護エプロン 等
送風機	工場扇・可搬式送風機（スパイラルエアダクト含む）
作業工具類	ドライバー・スパナ・レンチ・トルクレンチ・六角レンチ・ハンマー・バール・マンホールオープナー・電工工具・電工ドラム・プーラ 等
安全用具	担架・有害ガス検知器・空気呼吸器用コンプレッサ・空気呼吸器・ろ過筒 等
照明器具	投光器・変圧器（100/24V）・ケーブル 等
その他	トランスミッター用コミュニケーター・直流電源電圧発生装置・小型電動塗装機・油圧ジャッキ・水中ポンプ・台車・梯子・脚立・掃除機・踏み台・電動フォークリフト・AED 等

別紙5 各種計画書等の内容

学習計画書、運営マニュアル、運営・維持管理計画書、修繕計画書、財務計画書及び事業継続計画書には以下の事項を網羅させること。

1. 学習計画書

- ① 事業準備期間における業務実施内容
- ② 事業準備にあたる目標設定及び達成方法
- ③ 実施体制
- ④ スケジュールなど

2. 運営マニュアル

- ① 業務実施の概要
 - ・性能発注における業務実施の考え方
 - ・業務内容及び対象施設の概要
 - ・設備リスト及び主要設備の配置図
- ② 運転操作
 - ・本件廃棄物の受入及び処理不適物排除の方法
 - ・運転手順及びスケジュール(手順、管理項目・数値、用役管理等)
 - ・運転操作時の異常時の対応(受入不能、想定トラブルと対応策、緊急作動操作など)
- ③ 維持管理業務
 - ・維持管理手順及びスケジュール(手順、管理項目・数値、想定トラブルと対応策)
 - ・定期修繕の手順及びスケジュール(手順、管理項目・数値、想定トラブルと対応策)
- ④ 環境計測
 - ・排ガス、排水、騒音、振動等の環境計測の方法・記録・保管・管理
 - ・本件廃棄物搬入量や処理量、発電量の算定方法
 - ・計測結果が安定しない場合の対応方法
- ⑤ 記録、連絡報告
 - ・運転日報、点検記録、計器記録の作成要領
 - ・機器故障、故障処置、設備改善、機器補修の記録要領
 - ・設備台帳、補修・履歴の記録要領
 - ・月報、年報の様式
 - ・情報管理
 - ・モニタリング等への協力の考え方
 - ・異常発生時の記録、連絡報告
- ⑥ 電気工作物保安規程
 - ・本件施設における保安事項、考え方、保安手順・体制
 - ・保安に関する異常発生時の対応
- ⑦ 安全衛生管理

- ・安全作業に向けた考え方
- ・作業環境管理、防火管理、防災体制方法
- ・安全衛生の教育訓練
- ・危険物の取扱い、保管
- ・事故発生時の連絡方法、連絡網、処置方法、救出活動方法
- ⑧ 緊急時の対策
 - ・緊急時の対応体制
 - ・緊急時の措置、避難方法
- ⑨ 清掃工場防災マニュアル
- ⑩ 組織・服務規程
 - ・組織図、人員体制、法定資格者
 - ・職務内容、勤務時間
 - ・組織管理、従業員管理、教育研修
- ⑪ 業務改善計画
 - ・従業員への教育・訓練
 - ・継続的に業務の改善を図る方法
 - ・地域への配慮方法など

3. 運営維持管理計画書

- ① 業務概要
 - ・業務範囲
- ② 運転計画
 - ・本件廃棄物の受入、処理（搬入日、搬入量、稼働日、処理量）
 - ・ユーティリティ（種類、使用量、在庫管理）
 - ・電力量（発電量、所内使用量、売電量）
- ③ リスクへの対応
 - ・環境計測の項目、方法、スケジュール
- ④ 情報管理計画
 - ・実績報告書（日報、月報、年報等）の作成と管理、台帳管理、設計図書、契約書等の管理
 - ・データ管理など
- ⑤ 組織管理計画
 - ・組織図、人員体制、法定資格者一覧
 - ・職務内容、勤務時間
 - ・組織管理、従業員管理、教育研修
- ⑥ 業務改善計画
 - ・従業員への教育・訓練計画
 - ・業務改善計画など
- ⑦ その他の付帯業務
 - ・保安業務

- ・各機器の清掃、環境整備、衛生管理
- ・薬品等の用役品、予備品、消耗品の購入及び管理
- ・付帯業務にかかる費用内訳

4. 修繕計画書

① 定期点検、補修計画

- ・定期点検、法定点検、自主点検、保安等のスケジュール及び計画書
- ・補修のスケジュール及び計画書

② 特定部品の調達計画

- ・特定部品の調達計画

③ 計画修繕

- ・定期修繕以外の修繕計画

5. 財務計画書

① 運営維持管理費の内訳

- ・運転経費
- ・定期点検・補修費
- ・人件費
- ・その他経費
- ・付帯業務にかかる経費

② ①にかかる積算根拠

③ 事業収支計画

6. 事業継続計画書

- ① 災害・疾病・システム障害等の緊急事態別対応方法、事業継続可否の判断基準
- ② 新型コロナウイルス等の感染症対策計画

別紙6 現行の清掃等作業基準表

項目	作業内容等	対象面積	作業頻度	備考
施設清掃	日常清掃 (床清掃・ごみ収集含む)	220 m ²	1回/日	便所・給湯室等
		830 m ²	2回/週	事務室等
		1,230 m ²	1回/週	階段・廊下等
	定期清掃 (床)	1,140 m ²	2回/年	ワックス等
		250 m ²	2回/年	カーペット清掃
		170 m ²	1回/年	ワックス等
	定期清掃 (窓ガラス)	210 m ²	1回/年	管理棟
植栽管理	草刈		3回/年	—
	樹木剪定		1回/年	—
その他	清掃等		適宜	—

別紙7 市が実施する環境計測

測定対象物	測定内容	サンプリング場所	頻度
排ガス	ばいじん濃度	煙突採取口	2 回／年（各炉）
	塩化水素濃度		
	硫黄酸化物濃度		
	窒素酸化物濃度		
	水銀濃度		
	ダイオキシン類濃度		1 回／年（各炉）
処理対象物	ごみ質	ごみピット	1 回／月
主灰	熱灼減量	焼却灰搬出装置	1 回／月
	ダイオキシン類含有量		1 回／年（各炉）
飛灰	ダイオキシン類含有量	バグフィルタ集じん 灰集合コンベヤ	1 回／年（各炉）
飛灰処理物	ダイオキシン類含有量	集じん灰 No1 養生コ ンベヤ	4 回／年
	重金属等溶出量		
排水水	水質	放流水槽	1 回／月
周辺環境	振動	本件施設敷地境界ま たは本件施設周辺	1 回／年
	騒音		
	悪臭		
	大気		定期
	土壌		
	水質		

別紙8 事業に係るリスク分担

リスク項目		概要	分担	
			市	受注者
共通	制度・法令リスク	関連法令等・許認可の変更等に係るリスク	○	
	税制リスク	受注者の利益に課せられる税制度の変更（例；法人税等）、新税創設に伴うリスク		○
		上記以外の税制度の変更、新税創設に伴うリスク	○	
	物価変動リスク	一定の範囲内（1.5%）での物価変動に係るリスク		○
		一定の範囲内（1.5%）を超えた物価変動に係るリスク	○	
	政治リスク	政策方針の変更等による事業の停止・変更に係るリスク	○	
	不可抗力リスク	天災等により事業の実施が不可能となる場合のリスク	○	
		一定の範囲(1%) 内		○
		一定の範囲(1%) 外	○	
	住民反対リスク	受注者の責めに帰すべき事由による場合のリスク		○
		上記以外の場合のリスク	○	
運営段階	性能リスク 委託費超過リスク	受注者の責めに帰すべき事由による場合のリスク		○
		提示条件の不備や、要求変更等、市の責めに帰すべき事由による場合のリスク	○	
	施設・設備 損傷リスク	その他施設の運営維持管理業務において、本事業契約に規定する仕様及び性能の未達成等、受注者の責めに帰すべき事由による場合のリスク		○
		事故や火災等により施設が破損した場合のリスク	○	
	不適正ごみ 混入リスク	第三者の責めに帰すべき事由により施設が破損した場合のリスク		○
		受注者の善良なる管理者の注意義務違反の場合のリスク	○	
	新技術等の導入	受注者の善良なる管理者の注意義務を以ってしても排除できない場合のリスク		○
		技術革新に伴い設備が陳腐化した場合において、市の責めに帰すべき事由により運営コストが増大した場合のリスク	○	
	ごみ量・ごみ質 変動リスク	上記以外の場合のリスク		○
		搬入する本件廃棄物のごみ量が契約で規定した範囲を著しく逸脱した場合、または、ごみ質が契約で規定した範囲を逸脱した場合のリスク※	○	
事業終了段階での 施設の性能確保 ※契約期間満了時を除く		計画からの発電量変動の帰責事由が受注者にある場合のリスク		○
		計画からの発電量変動の帰責事由が受注者でない場合のリスク	○	

※ ごみ量については、上限を本件施設の受入可能量とし、下限を20,000 t として、これを逸脱した際は委託費について協議を行う。また、ごみ質については、DCS から得られる熱量データと市が実施するごみ質分析から得られるデータを総合的に勘案し、判断する。

別紙9 本件施設の主な法定点検とその直近実施時期

本件施設の主な法定点検とその直近実施時期は、以下に示すとおりである。

設備名等	関連法令等	期間	直近実施時期 (令和6年3月末時点)
ごみ計量機	定期検査（計量法）	2年毎	令和5年11月
	自主検査	2年毎	令和4年11月
ごみクレーン 灰クレーン	性能検査（クレーン等安全規則）	2年毎	令和4年11月
	定期自主検査（クレーン等安全規則）	1年毎	令和5年11月
タービン発電機用 ホイス	性能検査（クレーン等安全規則）	2年毎	令和4年11月
	定期自主検査（クレーン等安全規則）	1年毎	令和5年11月
廃熱ボイラ（3基） 及び各ボイラ附属設備	定期事業者検査（電気事業法）	2年毎	令和5年6月～8月
	自主保安検査（保安規程）	2年毎	令和4年6月～7月
蒸気タービン（1基） 及び附属設備	定期事業者検査（電気事業法）	4年毎	令和5年8月
	自主保安検査（保安規程）	4年毎	令和3年7月
アンモニア水蒸発器 HEX-1・2・4 (第一種圧力容器)	性能検査（労働安全衛生法、ボイラ及び圧力容器安全規則）	1年毎	令和5年11月
受変電設備 (特別高圧)	定期点検（電気事業法、保安規程）	6年毎	平成30年11月
受変電設備 (高圧)		3年毎	令和3年11月
タービン発電機		3年毎	令和3年7月
非常用発電機※		3年毎	令和3年11月
消防用設備	機器点検（消防法）	半年毎	令和6年3月
	総合点検（消防法）	1年毎	令和6年3月
灯油ストレージタンク (地下)	定期点検（消防法）	3年毎	令和3年7月
作業環境測定 (吸入性粉塵)	労働安全衛生法	半年毎	令和5年10月
作業環境測定 (ダイオキシン・煤塵)	労働安全衛生法施行規則 廃棄物焼却施設内作業におけるダイオキシン類ばく露防止対策要綱	半年毎	令和5年11月
エレベータ	定期検査（建築基準法）	1年毎	令和5年12月
車庫棟	定期調査（建築基準法）	3年毎	令和6年2月
浄化槽	法定検査（浄化槽法）	1年毎	令和5年8月
生活受水槽	水槽の清掃及び定期検査（水道法）	1年毎	令和5年7月

※ 非常用発電機の定期点検は、消防用設備の総合点検と兼ねて実施している。

別紙10 本件施設における人員配置一覧

【令和6年4月時点の橿原市の人員配置】

		橿原市
人員配置合計		環境施設課長：1名 課長補佐：1名 副主幹：1名 統括技能員：2名 副主任：1名 管理係：3名 計 9名
対象施設又は対象業務	ごみ受入業務	施設係：4名 ・計量受付・手数料徴収
	ごみ焼却処理施設	管理係：3名 ・施設管理業務

【平成 25 年 1 月（長期包括運営委託事業開始前）時点の橿原市及び委託業者の人員配置】

		橿原市	委託業者
人員配置合計		環境企画課長：1名 課長補佐：2名 副主幹：3名 統括調整員・統括技能員：5名 企画係：2名（内、統括調整員：1名） 保全係：3名（内、統括調整員：1名） 管理係：2名（内、統括調整員：1名） 業務係：2名 施設第1係：4名（内、副主幹：1名） 施設第2係：3名 施設第3係：5名 （内、再任用・臨時職員：4名） 計 28名	総括責任者：1名 副責任者：2名 日勤班員：3名（内、副責任者：1名） 運転班員：5名×4班＝20名（2交替） 計 25名
対象施設又は対象業務	ごみ受入業務	施設第1係：4名 ・ごみ及び灰クレーン操作：4名 施設第2係：3名 ・計量受付・手数料徴収：3名 施設第3係：5名 ・プラットホーム監視・受入：5名	
	ごみ処理施設	保全係：3名 ・施設保全業務 管理係：2名＋統括調整員：1名＝3名 ・施設管理業務	委託業者：25名 ・施設運転管理業務 ・メンテナンス業務

※（ ）内は兼任を示す。

別紙11 令和5年度排ガス測定値

測定項目		単位	1号炉		2号炉		3号炉	
			7月4日	12月8日	8月7日	12月1日	8月7日	11月6日
湿り排ガス流量		m ³ _N /h	24600	26800	24000	27600	21900	27400
乾き排ガス流量		m ³ _N /h	20500	22900	20400	23400	18700	23200
排ガス流速		m/s	11.5	12.3	11.6	13.2	10.6	13.2
排ガス温度		℃	163	155	168	172	169	173
排ガス中の水分		vol%	16.82	14.67	14.87	15.16	14.55	15.48
排ガス 組成※	酸素	vol%	13.0	12.0	12.5	12.4	12.0	12.5
	二酸化炭素	vol%	7.0	8.0	7.5	7.6	8.0	7.5
	一酸化炭素	vol%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	窒素	vol%	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
ばいじん	濃度	g/m ³ _N	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	酸素12%換算値		<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
硫黄酸化物	濃度	volppm	6	<5	7	<5	7	<5
	排出量	m ³ _N /h	0.12	<0.12	0.14	<0.12	0.13	<0.12
窒素酸化物	濃度	volppm	43	41	65	43	52	32
	酸素12%換算値	volppm	49	41	69	45	52	33
塩化水素	濃度	mg/m ³ _N	42	<5	16	29	11	24
	酸素12%換算値		47	<5	17	30	11	25
水銀		μg/m ³ _N	0.73	1.1	0.36	0.59	0.15	0.49
K 値		-	0.03	<0.03	0.03	<0.03	0.03	<0.03

※ 基礎項目測定時の数値を示す。

別紙12 令和5年度ダイオキシン類測定値

No.	測定項目	単位	排ガス中のダイオキシン類測定分析		
－	測定対象	－	1号炉	2号炉	3号炉
－	測定日	－	10月20日	9月8日	10月20日
1※	Total PCDDs	ng/m ³ _N	0.070	0.034	0.062
2※	Total PCDFs		0.043	0.086	0.095
3※	Total Coplanar PCBs		0.053	0.082	0.11
4※	Total TEQ	ng-TEQ/m ³ _N	0.000088	0.00011	0.00012
5※	CO濃度	ppm	5	6	8
6	酸素濃度	%	12.6	13.7	13.0
7	排ガス量（湿り）	m ³ _N /h	27000	18400	24200
8	排ガス量（乾き）	m ³ _N /h	23000	15800	21000
9	排ガス流速	m/s	12.8	8.7	11.4
10	水分量	%	14.6	14.4	13.4
11※	ばいじん濃度	g/m ³ _N	<0.006	<0.007	<0.006
12※	塩化水素濃度	mg/m ³ _N	<3	5	4
13	排出ガス温度	℃	164	163	161

No.	測定項目	単位	焼却灰中のダイオキシン類測定分析		
－	測定対象	－	1号炉	2号炉	3号炉
－	測定日	－	10月20日	9月8日	10月20日
1	Total PCDDs	ng/g	0.0055	0.0059	0.0058
2	Total PCDFs		0.029	0.10	0.0050
3	Total Coplanar PCBs		0.030	0.042	0.044
4	Total TEQ	ng-TEQ/g	0.00035	0.0000021	0.00020

No.	測定項目	単位	飛灰中のダイオキシン類測定分析		
－	測定対象	－	1号炉	2号炉	3号炉
－	測定日	－	10月20日	9月8日	10月20日
1	Total PCDDs	ng/g	22	13	31
2	Total PCDFs		31	21	41
3	Total Coplanar PCBs		0.63	0.44	0.66
4	Total TEQ	ng-TEQ/g	0.81	0.57	0.97

No.	測定項目	単位	飛灰処理物中のダイオキシン類測定分析			
－	測定日	－	4月21日	7月21日	10月20日	1月5日
1	Total PCDDs	ng/g	16	2.7	25	21
2	Total PCDFs		27	3.9	32	17
3	Total Coplanar PCBs		0.57	0.27	0.48	0.47
4	Total TEQ	ng-TEQ/g	0.71	0.087	0.83	0.54

※ O₂12%換算値

別紙13 「橿原市上下水道部」及び「大和高田市上下水道部お客様センター」の部屋の利用状況

【利用範囲一覧】

部屋名称		床面積 (㎡)	利用範囲 (橿原市上下水道部・大和高田市上下水道部お客様センター)		
			利用面積※ (㎡)	利用状況	固定費 2 の 算定対象範囲 (対象：○)
3F	研修室（西側）	169	169	執務室として利用	○
	大会議室+倉庫B	187	187	執務室として利用	○
	小会議室	77	38.5	事業担当課と共用	
	書庫	8	8	女子更衣室として利用	
2F	作業員控室(2)	77	77	休憩室として利用	○
	倉庫	10	5	事業担当課と共用	
	分析室	48	24	事業担当課と共用	○
	更衣室1	63	31.5	事業担当課と共用	
1F	事務室	218	218	執務室として利用	○
	工作室及び資材庫	61	61	資材置場として利用	
	予備品収納庫	24	24	資材置場として利用	
屋外	駐車場	81	81	建屋を設置し書庫として利用	
	バイク置き場	98	49	事業担当課と共用	
	来客者用駐車場	150	75	事業担当課と共用	
	施設北側駐車場	—	175	駐車場として利用	

※ 「橿原市上下水道部」、「大和高田市上下水道部お客様センター」が全面的に利用している場合は、床面積と利用面積は同値とした。

事業担当課と共用している場合は、床面積の 1/2 を「橿原市上下水道部」、「大和高田市上下水道部お客様センター」の利用面積として整理した。

【固定費 2 の算定対象範囲の光熱水利用見込み】

項目	使用量		備考
水道	1,085 m ³ /年		—
電気	198,044 kWh/年		契約電力750kW※
	買電増加量	6,044 kWh/年	電力量については買電増加量のみ固定費2へ見込むこと
	売電減少量	192,000 kWh/年	

※ 「橿原市上下水道部」、「大和高田市上下水道部お客様センター」の執務室としての利用により、執務室利用開始前より 100kW 増となっている。